

教職課程の自己点検・評価に係る点検・評価項目の点検結果

大項目NO	大項目	詳細NO	中項目	観点	点検結果	点検結果が△または×の場合、その理由 (改善・向上が必要と確認された事項を具体的に記載ください。)	改善計画	その他特記事項 (具体的に改善・向上した事例があれば記載してください。)	分析項目に係る根拠資料・データ	備考
①	教育理念・学修目標	①-1	教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画の策定状況	具体的かつ明確な形で設定されているか等	○				①-1-1.ディプロマ・ポリシー(全学) ①-1-2.ディプロマ・ポリシー(教育学部) ①-1-3.ディプロマ・ポリシー(教育学研究科)	
		①-2	教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画の策定プロセス	学生や採用権者の意見の考慮、所在する都道府県・政令指定都市教育委員会の策定する教員育成指標との関係性の考慮が行われているか 等	○				①-2-1.外部評価委員会開催HP ①-2-2.連携推進専門委員会開催HP	
		①-3	教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画の見直しの状況	一人一人の学生が教職課程での学修を通じて得た自らの学びの成果(以下「学修成果」という。)や自己点検・評価の結果、社会情勢や教育環境の変化等を踏まえた適切な見直しが行われているか 等	○				①-3-1.令和6年度滋賀大学FD事業報告書 ①-3-2.令和4年度教育学部卒業生アンケート ①-3-3.令和4年度教育学部卒業生アンケート集計結果	
②	授業科目・教育課程の編成実施	②-1	複数の教職課程を通じた授業科目の共通開設など全学的な教育課程の編成状況	複数の教職課程間における授業科目の共通開設は、開設に責任を負う学科等の強み・特色を生かしつつ適切に行われているか 等	○				②-1-1.特別支援教育専攻科HP ②-1-2.カリキュラムマップ	
		②-2	教職課程の授業科目の実施に必要な施設・設備の整備状況	ICT(情報通信技術)環境(オンライン授業含む)、模擬授業用の教室、関連する図書など、教職課程の授業科目の実施に必要な施設・設備が整備されているか 等	○				②-2-1.スマート・ラーニング・コモンズHP ②-2-2.ラーニング・コモンズ、アクティブラーニング室HP ②-2-3.教室一覧(大津キャンパス) ②-2-4.附属図書館教育学部分館案内配置図	
		②-3	教育課程の体系性	法令及び教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画と対応し必要な授業科目が開設され適切な役割分担が図られているか、教職課程以外の科目との関連性が適切に確保されているか 等	○				(教育学部) (再掲)②-1-2.カリキュラムマップ ②-3-1.カリキュラムの構造 ②-3-2.ナンバリング付与ルール ②-3-3.教育学部科目ナンバリング一覧 ②-3-4.学部履修手引(抜粋) ②-3-5.学部シラバス(抜粋)	
					○				(教育学研究科) ②-3-6.科目間の連携 ②-3-7.実習科目の形態と年間スケジュール ②-3-8.教職大学院における4つのコースの学修イメージ ②-3-9.大学院履修手引(抜粋) ②-3-10.大学院シラバス(抜粋)	
		②-4	ICTの活用指導力など、各科目を横断する重要な事項についての教育課程の体系性	例えば、教員として身につけることが必要なICT活用指導力の全体像に対応して各科目間の役割分担が適切に図られているか、到達目標や学修量が適切な水準となっているか 等	○				(教育学部) (再掲)②-1-2.カリキュラムマップ (再掲)②-3-1.カリキュラムの構造 (再掲)②-3-2.ナンバリング付与ルール (再掲)②-3-3.教育学部科目ナンバリング一覧 (再掲)②-3-4.学部履修手引(抜粋) (再掲)②-3-5.学部シラバス(抜粋)	
					○				(教育学研究科) (再掲)②-3-6.科目間の連携 (再掲)②-3-7.実習科目の形態と年間スケジュール (再掲)②-3-8.教職大学院における4つのコースの学修イメージ (再掲)②-3-9.大学院履修手引(抜粋) (再掲)②-3-10.大学院シラバス(抜粋)	
		②-5	いわゆるキャップ制の設定状況	1単位あたりの学修時間を確保する上で有効に機能しているか 等	○				(教育学部) ②-5-1.教育学部規程 第11条第2項	
					○				(教育学研究科) ②-5-2.教育学研究科規程 第6条の2	
		②-6	教育課程の充実・見直しの状況	学修成果や自己点検・評価の結果等を踏まえて充実が図られ、適切な見直しが行われているか 等	○				(教育学部) ②-6-1.初等教育コースの再編について ②-6-2.R6第1回教務カリキュラム委員会議題 ②-6-3.R6第2回教務カリキュラム委員会議題 ②-6-4.R6第3回教務カリキュラム委員会議題 ②-6-5.R6第4回教務カリキュラム委員会議題 ②-6-6.R6第3回将来構想委員会議題	
					○				②-6-7.特別支援教育専攻科の再編について	
					○				②-6-8.令和3年4月から教職大学院の拡充(改組)	
		②-7	個々の授業科目の到達目標の設定状況	法令、教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画、学習指導要領及び教職課程コアカリキュラムへの対応が図られているか 等	○				(教育学部) (再掲)②-3-5.学部シラバス ②-7-1.教職課程コアカリキュラム対応表 各教科の指導法(幼・小) ②-7-2.教職課程コアカリキュラム対応表 各教科の指導法(中・高) ②-7-3.教職課程コアカリキュラム対応表 教育の基礎的理解 ②-7-4.外国語(英語)コアカリキュラム対応表 ②-7-5.特別支援学校教諭免許状コアカリキュラム対応表	
					○				(教育学研究科) (再掲)②-3-10.大学院シラバス	
		②-8	シラバスの作成状況	教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画と授業科目との関係、授業科目の目的と到達目標、内容と方法、計画、成績評価基準、事前学修と事後学修の内容等が明確に記載されているか 等	○				(教育学部) (再掲)②-3-5.学部シラバス ②-8-1.令和6年度学務委員会議題(シラバス点検) ②-8-2.シラバス記入状況	
					○				(教育学研究科) (再掲)②-3-10.大学院シラバス (再掲)②-8-2.シラバス記入状況 ②-8-3.令和6年度研究科企画・運営委員会(シラバス点検)	

大項目NO	大項目	詳細NO	中項目	観点	点検結果	点検結果が△または×の場合、その理由 (改善・向上が必要と確認された事項を具 体的に記載ください。)	改善計画	その他特記事項 (具体的に改善・向上した事例があ れば記載してください。)	分析項目に係る根拠資料・データ	備考
		②-9	アクティブ・ラーニングやICTの活用など新たな手法の導入状況	授業科目の到達目標に応じ、少人数のアクティブ・ラーニングやICTを活用した新たな手法を導入し、「考える」「話す」「行動する」などの多様な学びをもたらす工夫が行われているか 等	○				②-9-1_代表科目シラバス『中等理科教育法Ⅰ』	
		②-10	個々の授業科目の見直しの状況	学修成果や自己点検・評価の結果等を踏まえて充実が図られ、適切な見直しが行われているか 等	○				(再掲)①-3-1_令和6年度滋賀大学FD事業報告書	
		②-11	教職実践演習及び教育実習等の実施状況	教職課程において特に重要な役割を果たす教職実践演習、教育実習(学校体験活動含む)は、事前指導・事後指導を含め、大学の主体的な関与の下で適切に行われているか 等	○				②-11-1_2024教職実践演習授業計画 ②-11-2_教育参加カリキュラム ②-11-3_教育参加科目(履修手引)	
③	学修成果の把握・可視化	③-1	成績評価に関する全学的な基準の策定・公表の状況	成績評価基準に基づく評語と授業科目ごとに定められている到達目標の達成水準との関係等が明らかにされているか 等	○				(再掲)②-3-5_学部シラバス (再掲)②-3-10_大学院シラバス ③-1-1_滋賀大学における成績評価のガイドラインHP公表 ③-1-2_学部における成績評価のガイドライン(履修手引抜粋) ③-1-3_大学院における成績評価のガイドライン(履修手引抜粋)	
		③-2	成績評価に関する共通理解の構築	同一名称の授業科目を複数の教員が分担して開講している場合に成績評価の標準化を図ることができているか 等	○				(再掲)①-3-1_令和6年度滋賀大学FD事業報告書 P.80	
		③-3	教員の養成の目標の達成状況(学修成果)を明らかにするための情報の設定及び達成状況	教員の養成の目標の達成状況を明らかにするための情報が適切に設定されており、それがどの程度達成されているか、教職実践演習に向けた「履修カルテ」を適切に活用できているか 等	○				③-3-1_教員養成の目標の達成状況に係る資料(大学HP) (再掲)②-11-1_2024教職実践演習授業計画	
		③-4	成績評価の状況	各授業科目の到達目標に照らしてできるだけ定量的又は定性的に達成水準を明らかにし、厳格に点数・評語に反映することができているか、公正で透明な成績評価という観点から達成水準を測定する手法やその配点基準があらかじめ明確になっているか 等	○				(再掲)②-3-5_学部シラバス (再掲)②-3-10_大学院シラバス (再掲)②-5-1_教育学部規程 第21条 (再掲)②-5-2_教育学研究科規程 第12条 (再掲)③-1-1_滋賀大学における成績評価のガイドライン (再掲)③-1-2_学部における成績評価のガイドライン (再掲)③-1-3_大学院における成績評価のガイドライン ③-4-1_組織的に確認していることに関する資料(学務委員会議題(成績評価分布の点検))(非公表) ③-4-2_R6秋成績分布表 ③-4-3_R6秋成績分布表(教育学研究科)	
④	教職員組織	④-1	教員の配置の状況	教職課程認定基準(平成13年7月19日教員養成部会決定)で定められた必要専任教員数を充足しているか 等	○				④-1-1_課程認定申請書類(教育学部) ④-1-2_課程認定申請書類(専攻科) ④-1-3_課程認定申請書類(高度教職実践専攻)	
		④-2	教員の業績等	担当授業科目に関する研究実績の状況、担当教員の学校現場等での実務経験の状況 等	○				④-2_課程認定申請書類(履歴書抜粋)	
		④-3	職員の配置状況	教職課程を適切に実施するため、事務組織を設け、必要な職員数を配置できているか 等	○				④-3-1_教育研究組織 ④-3-2_教職員数 ④-3-3_教務関係を担う職員数	
		④-4	FD・SDの実施状況	いわゆる教科専門の授業科目を担当する教員や実務家教員も含め、教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画への理解をはじめ教職課程を担う教員として望ましい資質・能力を身に付けさせるためのFD・SDが確実に実施されているか、適切な内容が実施できているか、実際に参加が確保できているか等	○				(再掲)①-3-1_令和6年度滋賀大学FD事業報告書 P.2 P.35 P.82 ④-4-1_令和6年度FD研究会ちらし(高度教職実践専攻) ④-4-2_令和6年度公開授業ちらし(高度教職実践専攻)	
		④-5	授業評価アンケートの実施状況	個々の授業科目の見直しに繋がるFDの機会を活用できるように、効果的な授業評価アンケートの作成・実施が行えているか 等	○				(教育学部) ④-5-1_履修指導の実施状況(教育学部) ④-5-2_R7授業評価アンケートの実施方法・進め方(教育改革委員会)(非公表) ④-5-3_授業評価アンケート実施要領2025春 ④-5-4_授業評価アンケート集計結果(教員閲覧画面)(非公表)	
					○				(教育学研究科) ④-5-5_履修指導の実施状況(教育学研究科) ④-5-6_Webによる授業評価アンケートの実施について ④-5-7_令和6年度_春学期・通年科目_授業評価アンケート実施等スケジュール一覧	
⑤	情報公表	⑤-1	学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第172条の2のうち関連部分、教育職員免許法施行規則第22条の6に定められた情報公表の状況	法令に定められた情報公表が学外者にもわかりやすく適切に行えているか 等	○				⑤-1-1_教育情報の公表(大学HP) ⑤-1-2_教員養成の取組み(大学HP)	
		⑤-2	学修成果に関する情報公表の状況	大学が必要な資質・能力を備えた学生を育成できているかどうかを、エビデンスとともに説明できているか 等	○				(再掲)⑤-1-2_教員養成の取組み(大学HP) ⑤-2-1_標準修業年限内の卒業(修了)率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業(修了)率(過去5年分) ⑤-2-2_R6免許取得状況	
		⑤-3	教職課程の自己点検・評価に関する情報公表の状況	根拠となる資料やデータ等を示しつつ、わかりやすい自己点検・評価の評価書を公表することができているか	○				⑤-3_令和6年度自己点検・評価報告書	

大項目NO	大項目	詳細NO	中項目	観点	点検結果	点検結果が△または×の場合、その理由 (改善・向上が必要と確認された事項を具体的に記載ください。)	改善計画	その他特記事項 (具体的に改善・向上した事例があれば記載してください。)	分析項目に係る根拠資料・データ	備考
⑥	教職指導(学生の受け入れ・学生支援)	⑥-1	教職課程を履修する学生の確保に向けた取組の状況	教職課程に関する積極的な情報提供の実施ができているか、教員の養成の目標に照らして適切に学生を受け入れているか 等	○				⑥-1-1 高校生・受験生(大学HP) ⑥-1-2 教育学部受験案内(大学HP)	
		⑥-2	学生に対する履修指導の実施状況	必要な体制や施設・設備を整えた上で、個々の学生の教職に対する意欲を踏まえつつ、学生に教職課程の履修に当たって学修意欲を喚起するような適切な履修指導が行えているか、「履修カルテ」を適切に活用できているか 等	○				(教育学部) (再掲)④-5-1.履修指導の実施状況(教育学部) (再掲)②-11-1.2024教職実践演習授業計画	
					○				(教育学研究科) (再掲)④-5-5.履修指導の実施状況(教育学研究科)	
		⑥-3	学生に対する進路指導の実施状況	学生に教職への入職に関する情報を適切に提供するなど、学生のニーズに応じたキャリア支援体制が適切に構築されているか 等	○				⑥-3-1.社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組(教育学部) ⑥-3-2.社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組(教育学研究科) ⑥-3-3.教職実践論ⅠⅡスケジュール(令和6・7年度) ⑥-3-4.教員就職率と教員養成試験対策講座等受講の有無 ⑥-3-5.令和6年度教員養成研修プログラム ⑥-3-6.令和6年度就職教授ガイダンス次第	
⑦	関係機関等との連携	⑦-1	教育委員会や各学校法人との連携・交流等の状況	教員の採用を担う教育委員会や各学校法人と適切に連携・交流を図り、地域の教育課題や教員育成指標を踏まえた教育課程の充実や、学生への指導の充実につなげることができるか 等	○				(再掲)①-2-2.連携推進専門委員会開催HP (再掲)②-11-2.教育参加カリキュラム ⑦-1-1.教職大学院 現職教員一覧 ⑦-1-2.令和8年度滋賀県公立学校教員採用選考試験における大学推薦について	
		⑦-2	教育実習等を実施する学校との連携・協力の状況	教育実習を実施する学校と適切に連携・協力を図り、実習の適切な実施につなげることができるか、学校体験活動や学習指導員としての活動など学校現場での体験活動を行う機会を積極的に提供できているか 等	○				(教育学部) (再掲)②-11-2.教育参加カリキュラム ⑦-2-1.連携協力校一覧(令和7年度・学部)	
					○				(教育学研究科) ⑦-2-2.期待する目標 ⑦-2-3.連携協力校一覧(令和7年度・教職大学院) ⑦-2-4.連携協力校以外の実習先一覧(令和7年度・教職大学院)	
		⑦-3	学外の多様な人材の活用状況	学外の諸機関との連携の下、教育課程を充実するために学外の多様な人材を実務経験のある教員又はゲストスピーカー等として活用することができるか 等	○				(再掲)②-3-5.学部シラバス (再掲)②-3-10.大学院シラバス (再掲)⑥-3-3.教職実践論ⅠⅡスケジュール(令和6・7年度)	